

議場燃ゆ

「賛成討論5」「反対討論3」。
激しい討論の応酬の末、令和4年度一般会計
予算は「賛成多数」により可決されました。
例年を上回る緊張感のもと行われた定例会
最終日を、臨場感を持ってお伝えします。

“今こそ動くべき” (賛成)

“今こそ立ち止まって
考えるべき” (反対)

町民の志を背に
議論白熱



白熱の最終日
動画はこちら
3月定例会 (3/22)

次のページは「議会と町民は一体 共に考える予算」

一日も早い学習 環境の整備を

少子化・人口動向等総合的に判断し「長寿命化」が最善との決断。男衾中長寿命化改修工事設計委託料、城南中学校区集約化調査検討費の予算化で一日も早い学習環境の整備を望む。

よりよい学びの 環境を

男衾中長寿命化改修工事設計委託料の予算計上は現場の先生方はじめ、PTA、地域住民と十分な協議を行い「よりよい環境」での新たな学びの場となるよう強く要望する。

折原小複式学級 解消へ

今予算で「城南中学校区集約化調査検討協議会」を立ち上げ、折原小複式学級解消へ一歩前身をみる。子どもたちのために地域関係者との対話を迅速かつ丁寧に推進すべき。

活性化に 寄与する予算

予防接種事業では5～11歳を対象とした新型コロナワクチン接種及び3回目接種の早期完了の取組等、町民の命と暮らしを守り町の活性化に寄与する予算と評価。



稲山良文議員



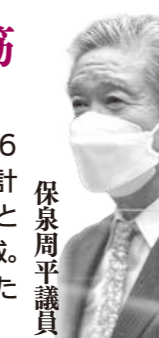
権田孝史議員



原口孝議員



佐藤理美議員



保泉周平議員

論点 ポイント

男衾中学校長寿命化改修事業
設計業務委託料3493万2000円

町の
方針 新築(建替え)から
長寿命化(大規模改修)へ

男衾中学校校舎は築約50年が経過。施設の老朽化対策は喫緊の課題。

①「建替え」か「改修」かを定めるため校舎の耐力度を調査。経年劣化はあるが構造耐力は満点の評価を受けたため、改修工事を行えば引き続き利用できる状態と判明。

②校舎の健全性が確認されたため国の補助金の対象外となり、多額の費用(約50億円)を町税等から負担することはできないと判断。

③早期の教育環境改善を図るため、工事期間を2年半程度で完了できる大規模改修へ方針転換を図る。



吉田正義議員

時間をかけた 合意形成を

男衾中長寿命化改修工事設計委託料の予算計上は極めて不適切で時期尚早。男衾地区全体の説明会がコロナ禍で開催できず合意形成はまだ。時間をかけ合意形成を進めるべき。



大澤博議員

地域住民と一体に 進めよ

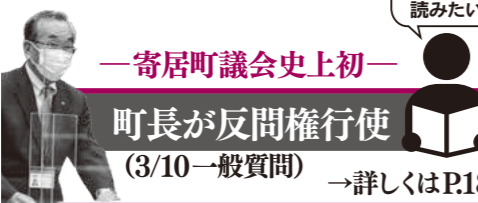
少人数学級の教育の良さが評価されておらず、学校施設の集約化・統廃合を中心に考えられている。地域での学校の役割を地域町民と一体に話し合いにより進めるべきだ。



岡本安明議員

なぜ早期に しなかったのか

男衾中は、なぜ建替えか改修かの検討を早期にしなかったのか。理想はシャレて小ぎれいで木の香りのするこじんまりした木造2階建ての校舎、それが男衾の子供達への最大のプレゼントだ。



—寄居町議会史上初—

町長が反問権行使

(3/10一般質問) →詳しくはP18



あわせて
見たい
読みたい



→詳しくはP18

反対4 大澤 岡本 田母神 吉田

賛成10 権田 保泉 笠原 中嶋 吉澤 津久井 鈴木 佐藤 稲山 原口